

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	権利擁護部会	
日時	令和 6 年 5 月 20 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 2 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (1 名：別添名簿のとおり) ・ なし		
報告・検討 の内容	① 自立支援協議会について		
	② 自己紹介		
	③ 部会長・副部会長の選出		
	④ 前回の振り返り		
	⑤ 今年度の取り組み内容について		
	⑥ その他		
主な意見	<p>1. 自立支援協議会について 資料 1 をもとに、日岡より説明。</p> <p>2. 自己紹介 自己紹介を行う。</p> <p>3. 部会長・副部会長の選出 部会長は尾張東部権利擁護支援センター鈴木さん、副部会長は愛歩森田さんが選出された。</p> <p>4. 前回の振り返り ・ 自立支援協議会報告 ・ 前回の振り返り ・ 障害者虐待防止法勉強会の振り返り ・ 来年度に向けて</p>		

・その他

5. 今年度の取り組み内容について

資料 3 をもとに今年度の取り組み内容の確認を行う。

【成年後見制度勉強会について】

・10月開催予定。毎年、参加者が少ないため、今年度は意思決定支援の内容を含めて支援者向けに開催を検討中。講師はあすライツ住田さんに依頼予定。

→あすライツの住民向け勉強会との重複を避けるためにも、支援者向けでよいのでは。前回参加していただいた方には、ステップアップした内容を受けてもらえる。

→意思形成のプロセス、意思決定を行うまでのプロセスについて聞くことができる機会になる。また、他事業所の話も聞けるといい。

→去年は、後半に意思決定の内容が入っており、もっと聞きたいという意見もあった。グループワークも盛り上がり、他事業所と話し合える機会となりよかった。

→意思決定支援の内容を含めた講演を依頼する。

【避難所開設運営訓練】

・開催日：11月10日（日）

開催校：相野山小学校、北中学校・竹の山小学校

・今後、防災交通課と事務局で話し合いを行い、参加方法などを検討する。

【障害者差別解消法講演会】

・R5年度は40～50名参加。

障害理解を深めるための入口として、一般の方に広めていきたい。例年、市単独での開催だが参加者が少ない。人が多く集まる場所に参加することで、一般の方の障害理解を深めていきたい。

・(案) 市民まつりに参加し、パラスポーツなどのイベントを行う。誰もが参加しやすい競技としてボッチャが出ている。種目は1種類で検討中。

・会場：スポーツセンター2階。第2競技場の半分のスペースを使う。
時間帯：9時～15時。

予算15万、協力してもらえる団体があれば委託する。

→ボッチャは時間的にも回転がいいのでは。

・身障会ではカローリングをしていた。最高3レーン。1レーン10人が参加できる。吹き矢をしたこともあり、カローリングの順番待ちをしている人は吹き矢へ参加してもらう方法もある。

・子どもや当事者、車椅子の方なども参加できる競技があるとより人が集まるのではないか。

・市民まつりに参加することの目的は、一般の方に障害特性について理解してもらうこと。ボッチャに参加してもらうだけで目的を達成することはできるか。

→部会に参加している事業所の利用者の方に参加してほしい。障害のある方と関わったことがない方が多いと思うため、チームを組んで一緒にゲームに参加してもらうことで理解を深めてもらいたい。

- ・各事業所からの参加人数は未定。大枠が決まったら 1 日のスケジュールを組む。
- ・愛歩と合同で行ったスポーツ大会では、カローリング以外の綱引きや借り物競争などいくつかの種目を行った。子どもや、その保護者も参加していたため参加人数は多かった。子どもも参加できるといい。
- ・イベントの開催に合わせて周知・啓発の方法を考えていく。
- ・市役所から老人会、民生委員には周知されているが、配布だけでなく、直接声をかけるなど行きたいと思えるような周知をしてほしい。

【虐待防止法勉強会】

○4 法人の研修会

- ・今年度も事業者向けに実施する方向になっている。7 月以降に 4 法人での打ち合わせを行う予定。開催時期は年明け頃を予定。講師未定。
 - ・グループワークが好評だったため、横のつながりを深める意味でも重点を当てて進めていくのではないかと。
 - ・事業所としては、虐待研修は必須のため、身体拘束などの内容を含めつつ、虐待メインで行う。
 - ・部会としては、4 法人の打ち合わせを受けて、内容を検討したい。
 - ・7/18 の部会前に打合せ日程を設定することもできるかもしれないため、調整していただく。
 - ・内容によって、4 法人と合同で開催するか、部会単独で開催するかを検討する。
 - ・市民が何を知りたいと思っているかを把握していく必要がある。
 - ・勉強会に参加することで、一般の方にはまだまだ知られてないと痛感した。内容も含め、勉強会自体を開催していることを知らない人が多くいる。
 - ・いかに参加者を増やすか。老人会、民生委員など、周知の仕方次第では参加者が増えるのではないかと。教育関係者に周知してみてもいい。
 - ・去年は、一般向けだったが参加者が少なく、再度周知を行ったが、参加者の大半は支援者だった。
 - ・4 法人と合同で行い、さらに部会単独で市民向けに開催するかどうか。
 - ・差別解消法で障害者への意識の持ち方を変えていき、いずれは障害者虐待まで意識をもっていけるといい。
 - ・チラシ、広報での周知がメインだが、CC ネットなどの利用はできるのか。→検討することはできる。
 - ・学校の支援級の先生は手探り状態であり、先生の中でも方針が統一されていない。学校と放課後等デイサービスで連携されている感じがしない。市として連携が取れるような場を設けていく必要もあるのでは。
- 子ども部会で特別支援教育コーディネーター研修を実施している。学校教育課としても現場が困っていることは把握している。どこからが虐待にあたるかについては知識としては知っておくべきこと。しか

	<p>し、学校は土日参加が難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所も平日参加は難しく、事業種別によっても参加できる時間が異なる。 ・虐待が先走ってしまいどこまで支援していいかわからない状況。やらないことのデメリットは（健康を害するなど）、事業所として悩んでいる。ex) ケースについて、手を出せずにいたところ病気になる。 ・今年度は、支援者向けに開催、一般向けに啓発の方法を検討することも一つ。 ・講演会やコミュニケーションボード、冊子やチラシなどを人が集まる場所に配布するなど、周知啓発の方法はいくつか考えられる。例えば、差別解消法の取り組みである市民まつりのイベントと一緒に周知する。 <p>6. その他 資料 4 をもとに、今年度の日程を確認する。</p>												
今回確認事項	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 797 459 887">①</td> <td data-bbox="459 797 1430 887">自立支援協議会について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 887 459 976">②</td> <td data-bbox="459 887 1430 976">自己紹介</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 976 459 1066">③</td> <td data-bbox="459 976 1430 1066">部会長・副部会長の選出</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1066 459 1155">④</td> <td data-bbox="459 1066 1430 1155">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1155 459 1245">⑤</td> <td data-bbox="459 1155 1430 1245">今年度の取り組み内容について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1245 459 1337">⑥</td> <td data-bbox="459 1245 1430 1337">その他</td> </tr> </table>	①	自立支援協議会について	②	自己紹介	③	部会長・副部会長の選出	④	前回の振り返り	⑤	今年度の取り組み内容について	⑥	その他
①	自立支援協議会について												
②	自己紹介												
③	部会長・副部会長の選出												
④	前回の振り返り												
⑤	今年度の取り組み内容について												
⑥	その他												

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	権利擁護部会
日 時	令和 6 年 5 月 20 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 鈴木 万由子	佐々木 慈さん (愛歩 実習生)
② 安江 真吾	
③ 森田 沙弥香	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 奥田 洋子 (欠)	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子	

(市職員)

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
	④

(事務局)

① 宇佐美 香津美 (欠)	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 武末 拓也
⑤ 桂川 斐斗美	⑥

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	権利擁護部会	
日時	令和 6 年 7 月 18 日 (木) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名		事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 避難所開設運営訓練について		
	③ 虐待防止法勉強会について		
	④ 成年後見制度勉強会について		
	⑤ 障害者差別解消法について		
	⑥ その他		
主な意見	1. 前回の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会について ・ 自己紹介 ・ 部会長・副部会長の選出 ・ 前回の振り返り ・ 今年度の取り組み内容について ・ その他 2. 避難所開設運営訓練について <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2、2-1 をもとに報告を行う。 ・ 事前ワークショップの進め方。訓練当日に参加するかどうかについて検討する。 ・ 昨年のワークショップでは、当日の参加の仕方について説明した。 ・ 訓練当日に参加しないのであれば、サポートブックについて詳細を説明する。 		

- ・イメージがつきづらいため参加しておきたい。訓練への参加は部会員しか無理か。事業所スタッフの中には参加したいという声がある。
→受付でお住まいの地区は聞かれるが、誰でも自由に参加はできる。
- ・デモンストレーションでできるのは身体障害の人。知的障害、発達障害についても地域の人に知ってもらい、どのような配慮が必要かを考えてもらうことが必要では。
- ・避難することを諦めている人もいる。選択肢を持ってもらうためにも、当事者やその家族に参加してもらい意見が聞けるといい。
- ・学区が違うため、例年と同じ方法で参加することにも意味はあると思う。当事者と一緒に参加することもいいと思う。
- ・当事者の方に参加してもらうことで、具体的な困りごとに気づいたり、考える機会になる。
- ・どうやって当事者と関わっていくか。当事者が来れるかどうか。
- ・センターの相談員が担当している方で対象地区にお住まいの方や、事業所の利用者の方に声をかける。ある程度、自立している人がいいのでは。
- ・自立度に関わらず、行った時にどうなるかを保護者の方に知ってほしい。アンケートを取り希望された方と、職員の体制を整えて行くか。
- ・市のチラシを活用して参加を募ることも一つ。
- ・当日参加するのであれば、8月のワークショップをどのように進めていくか。
- ・当日、部会としては当事者の支援者として参加する。参加した感想を防災交通課にお伝えする。
- ・事前説明は、当事者が来ることを想定して、目に見えにくい障害に焦点を当ててサポートブックを説明する。
- ・避難訓練の一貫として参加できれば有意義だと思う。まずは当事者の方に参加してもらうことで、今後につなげていけるといい。
- ・8/31 参加者→鈴木（万）さん、森田さん
- ・11/10 参加者→奥田さん、森田さん、磯畑さん、鈴木（香）さん。
ホームペガサスは事業所の避難訓練として扱うことを検討してみる。

3. 虐待防止法勉強会について

- ・4 法人（きまもり会、ポレポレ、名東福祉会、あじさいの会）の打合せ内容をご報告いただく。
- 意思決定支援の内容で、愛歩興梶さんが講義を行う。
日進障害者未来プランの説明をお願いしたいという意見があり、未来プランと絡めながら講義をする予定。グループワークも行う。
- ・資料 3 あすライツで虐待対応研修会実施。
 - ・資料 4 参考として曾根直樹先生のご紹介をいただく。
 - ・成年後見制度勉強会で意思決定支援の内容を含める予定だったため、4 法人と共催で成年後見制度勉強会を実施。虐待防止法勉強会は部会で開催する。
 - ・現場では、行動障害がある方が虐待につながらないように支援するにはどうしたらいいかと考えると本人の意思決定につながる。
 - ・身体拘束をして解除するまでのプロセス、工夫したらうまくいった

	<p>ケースなどが聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待がいけないことだとわかっているにもかかわらず起きてしまうのはなぜか。リアルな現場の声を聞き、外部の人から意見をもらいたい。 ・制度の話は省き、具体的な内容で絞ってもいいのでは。強度行動障害の対応スキルを上げ、虐待につながらないような方法を知りたい。 ・環境調整だけでは対応できないケースが増えている。学校でマンツーマンで対応していたが、事業所ではマンツーマンで対応することが難しい。それは事業所だけが知っておけばいいのか、それ以前の段階での対応が必要ではないか。 ・児童の時点から意識をもって、どう対応していくか検討していく必要がある。 ・強度行動障害について、以前医療分野の先生に来てもらうことがあった。現場を知っていて、対応もできる人。 ・開催時期は2月。 ・講師候補はメールであげていただく。<u>強度行動障害の方への支援の助言、幼少期からの支援も含めて話が聞けるといい。</u> <p>4. 成年後見制度勉強会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 法人と共催で行う方向となる。 <p>5. 障害者差別解消法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5をもとに進捗状況を報告いただく。 <p>ボッチャ協会には引き受けてもらえるかどうかの返事待ち。開催方法については、7月20日に体験会があるため地域福祉課が見学に行く。8月には開催方法を固め、当事者の方に何名ほど参加いただきたいかをお伝えする。</p> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジド夏祭り、みんなの勉強会について周知。 												
今回確認事項	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 1400 459 1489">①</td> <td data-bbox="459 1400 1430 1489">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1489 459 1579">②</td> <td data-bbox="459 1489 1430 1579">避難所開設運営訓練について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1579 459 1668">③</td> <td data-bbox="459 1579 1430 1668">虐待防止法勉強会について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1668 459 1758">④</td> <td data-bbox="459 1668 1430 1758">成年後見制度勉強会について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1758 459 1848">⑤</td> <td data-bbox="459 1758 1430 1848">障害者差別解消法について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1848 459 1926">⑥</td> <td data-bbox="459 1848 1430 1926">その他</td> </tr> </table>	①	前回の振り返り	②	避難所開設運営訓練について	③	虐待防止法勉強会について	④	成年後見制度勉強会について	⑤	障害者差別解消法について	⑥	その他
①	前回の振り返り												
②	避難所開設運営訓練について												
③	虐待防止法勉強会について												
④	成年後見制度勉強会について												
⑤	障害者差別解消法について												
⑥	その他												

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	権利擁護部会
日 時	令和 6 年 7 月 18 日 (木) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 鈴木 万由子	
② 安江 真吾 (欠)	
③ 森田 沙弥香	
④ 鈴木 香織	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 奥田 洋子	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行 (欠)	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子	

(事務局)

① 小倉 懸自 (欠)	② 渥美 則親
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 山 歩美	⑥ 武末 拓也
⑦ 桂川 斐斗美	⑧

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 3 回	権利擁護部会	
日時	令和 6 年 9 月 18 日（水）10 時 30 分～12 時 05 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名		事務局 7 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（2 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 各部会からの報告		
	③ 避難所開設運営訓練について		
	④ 虐待防止法勉強会について		
	⑤ 障害者差別解消法について		
	⑥ その他		
主な意見	<p>1. 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所開設運営訓練について ・ 虐待防止法勉強会について ・ 成年後見制度勉強会について ・ 障害者差別解消法について <p>2. 各部会からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメント部会：地域生活支援拠点について今後の取り組みを進める中で、各事業所が直面する課題について意見を伺っている。今後、地域生活支援拠点の機能強化をどのように進めていくか、課題を整理していく予定。 ・ 就労部会：6 月に開催した福祉的就労説明会の振り返り、今年度の取り組み内容について部会員から意見を伺った。色々なターゲット層があるため、日進市として何をしたいか知りたいという意見や、障害福祉サービスの多様性や増加が家庭で子どもを育てる意識が弱くなって 		

いることにつながっているという意見がある。子ども自身が力をつけること、家庭でも育てるといふ保護者の意識づけが必要であったり、就労に必要なことはどのようなことなのかなどについて、就労部会としてできることを考えていく。

3. 避難所開設運営訓練について

- ・当事者の方に参加していただくため、当事者に向けてアンケートを実施し、結果を防災交通課に報告する。アンケートは事業所で取りまとめて記入していただく想定をしている。

- ・アンケート内容について確認を行う。(資料 2)

- ・アンケートにふりがなをつける。

- ・サポートブックについての質問があるが、今までに当事者にサポートブックについて周知する機会があったか。事業所では当事者に向けて周知はしていない。

→当事者の目線から追加した方がいい項目があると思うため、配布して説明した方がいいのでは。

- ・サポートブックの配布方法は会場によって異なるが、避難所に置いてもらっている。安心して避難できるようにするために作った経緯があるため、サポートブックを使いながら来ていただいた方のサポートをするということを知ってほしい。

- ・開設のための訓練であるため、係の人に一緒に回ってもらうことは難しい。調査票に確認してほしい項目がない可能性もあるため、「もっと聞いてほしい項目はあったか」などの質問があるといいのでは。

- ・当事者やその家族が配慮してほしいことをどれだけ伝えられるか、係の人がどの程度聞き取れるかは人によって差が出る。

- ・子ども部会で医療機関を受診する際に配慮してほしいことを記載できる受診サポートカードを作った。避難所で活用できるものを作成した方がいいのでは。

- ・当事者やその家族も特性について伝えられないといけない。

- ・年齢によって配慮の仕方が変わるのであれば、アンケートで年齢を聞いてもいいのでは。

- ・マニュアルに沿って受付や案内がされていたかどうかの確認。サポートブックの内容を念頭に置いたうえで聞き取りがされていたかなど。

- ・参加した感想を聞くだけでもいいのではないか。

- ・もともとの⑤の質問項目と全体の感想を聞く内容に変更する。

- ・事前ワークショップは中止になった。訓練当日にサポートブックと説明文(資料 3)を配布予定。

- ・部会員全員参加予定。事業所の方は利用者の方と一緒に参加していただく。

- ・選挙の日程によっては実施日が変更になる可能性あり。

- ・参加人数の制限はないが、時間をずらして参加していただく。

- ・ホームペガサスは事業所から徒歩で参加。会場に 10 時到着予定。事業所間で時間調整していただく。

4. 虐待防止法勉強会について

○4 法人主催

- ・愛歩の興梠さんが講師として講義を行う。
- ・日程：12/21 受付 9：30 開場 10：00 半日開催の予定。
- ・意思決定支援の内容を含めて講義を行う。
- ・講義とグループワーク実施予定。グループワークでは、失敗談や、どのように改善できたかについて取り上げる。グループワークの詳細は次回の打ち合わせで詰めていく。
- ・講義とグループワークの間に各法人 1 名ずつから、各事業所の取り組みや、失敗を受けてどのように改善し、利用者さんに変化が見られたかなどについて聞きながらグループワークで掘り下げていく予定。
- ・グループワーク後、どのように支援していきたいか、何が得られたかなどについて聞く時間を設けたいが、時間的に難しければアンケートで確認する。
- ・4 法人からの参加者を 100 名、部会からの募集は 20～30 名。
- ・支援の一つの方法として、成年後見制度があることに触れてもらえるといい。

○部会研修

- ・強度行動障害に関する研修を行う予定。
講師候補：たくと大府施設長 林大輔さん
- ・2 月に開催を予定しているが、講師や会場の都合が合わない場合は、来年度へ見送りになる可能性あり。
- ・例年の参加状況を踏まえ、会場は中央福祉センターか、障害者福祉センターで検討する。
- ・事業所だけで改善することには限界がある。保護者の方にも意識してもらいたい、対象は支援者限定にするのか、保護者も一緒に聞けるといいのか。
- ・権利擁護部会だけでなく、子ども部会でも取り上げられる内容は子どもの方でも検討していけるといい。

5. 障害者差別解消法について

- ・7 月のイベントに地域福祉課が参加、あいちボッチャ協会と打合せを行った。資料 4 をもとに説明。
- ・11/17 予定だが、選挙と被った場合は順延。ボッチャ協会には、順延が確定してから再依頼をする。
- ・市内障害福祉事業所に対して協力依頼。
- ・チラシ裏面に申込用紙、参加可能時間が記載できるよう修正する。
- ・事業所の方は参加者としてお越しいただきたい。
- ・11/2 に図書館視聴覚ホールで市民協働課が人権イベントを開催し、ボッチャスペースを設ける。市民まつり前にボッチャ体験ができる機会になるため、当事者の方にも参加いただきたい。参加できる方はメールでお知らせいただく。

	6. その他 ・特になし
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 各部会の報告
	③ 避難所開設運営訓練について
	④ 虐待防止法勉強会について
	⑤ 障害者差別解消法について
	⑥ その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	権利擁護部会
日 時	令和 6 年 9 月 18 日 (水) 10 時 30 分～12 時 05 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 鈴木 万由子	(実習生) 長谷部 諒
② 安江 真吾	(実習生) 赤松 新太
③ 森田 沙弥香	
④ 鈴木 香織	
⑤ 高木 祥行 (欠)	
⑥ 奥田 洋子	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子 (欠)	

(事務局)

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 山 歩美	⑥ 武末 拓也
⑦ 桂川 斐斗美	⑧

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	武末 拓也	市確認欄	
専門部会名	第 4 回	権利擁護部会	
日 時	令和6年11月18日(月)10時30分～11時55分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名		事務局 7 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り(名:別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 各部会からの報告		
	③ 避難所開設運営訓練報告		
	④ 虐待防止法勉強会について		
	⑤ 障害者差別解消法(ボッチャイベント)について		
	⑥ その他		
主な意見	<p>1. 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所開設運営訓練について ・ 虐待防止法勉強会について ・ 成年後見制度勉強会について ・ 障害者差別解消法(ボッチャ体験会)について <p>2. 各部会からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙のとおり <p>3. 避難所開設運営訓練報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月10日(日)竹の山小学校および相野山小学校にて避難所開設運営訓練開催。当日参加をしてみて感じたこと、今後どのように権利擁護部会として関わっていくのかについてグループワークを実施。 ① 日曜日に開催ということもあり、当事者の参加率が低かった。 ② 受付までの動線や受付後の動線が不明確だった。 ③ 来年度は、福祉避難所の訓練等について市役所に対応を求める。 		

- ④ 避難所の運営について改善を求める提案を行う。
- ⑤ 防災交通課が避難所開設運営訓練に対して目的としていることと権利擁護部会が目的としていることのすり合わせが必要。
- ⑥ 受付時に聞き取りがされていなかった。聞き取りを行うにあたって、お互いに慣れていない環境のため何を聞いたら良いのか、何を伝えたら良いのか迷うことが想定される。予め配慮が必要な情報を準備しておいて持っていくことでやり取りがしやすいと感じた。
- ⑦ 受付をした後の誘導について、わかりやすい仕組みを作ることが必要と感じた。
- ⑧ 福祉や医療の有資格者が受付での聞き取りをやれると良いと感じた。

- ・参加した事業所の当事者向けアンケートの回収も行えたため、事務局にて内容をまとめて、今後の改善案として本日出た意見とともに防災交通課に報告する。

- ・今後配慮事項を記載するツールについて検討していく。

4. 虐待防止法勉強会について

○4 法人主催

- ・愛歩の興柵施設長が講師として講義を行う。
- ・シンポジウムを設けて、4 法人から各 1 人ずつシンポジストを出して意思決定支援について話をする。
- ・意思決定支援の話の後に、グループワークを行う。各グループは事前に決めておく形をとり、各法人からファシリテーターを 1 人準備して配置する。
- ・グループワークの内容は、支援を振り返って失敗談や利用者様の意思を汲み取るために工夫をしてきたこと、支援で困った経験があり対応で悩んだことについて意見交換を行うことを考えている。
- ・アンケートについて、前は部会にて作成したものを活用したが、今回は 4 法人にて作成したもので活用したい。内容は、今回の意思決定支援について研修を受けてどのように受け止めて、どのように支援に繋げていくのか具体的に書いてもらいたいという狙いがある。

- ・事前準備：12/20（金）の夕方を予定している。

- ・当日日程：12/21 集合 8:50 開場 9:10

- ・事前準備、当日日程については、11/27(水)に担当者間での打ち合わせがあるため、詳細の時間を決定する。

- ・部会委員の役割としては、受付を担当。グループワークにも入っていただく。

○部会研修

- ・令和 7 年 2/21（金）18:30～中央福祉センターにて支援者向けの虐待防止法勉強会について研修を行う。

- ・講師：たくと大府施設長 林大輔さん

- ・令和 6 年 12/23（月）15:00～たくと大府にて打ち合わせ及び施設見学を行う。参加希望の事業所があれば事務局に連絡をしていただく。

- ・テーマは、強度行動障害についてと決まっているが、具体的に話をしていただきたい内容を依頼するにあたってグループワークを実施。

① 行動障害の特性が強く、対応が難しい利用者様に対して具体的に取

	<p>り組まれていることについて話を聞きたい。</p> <p>② 複数人同時に対応しないといけない場合で、困りごとが生じた場合にどのように対応にあたっているのか知りたい。</p> <p>③ こだわりの特性から、本来の予定を前倒しにしてしまう場合にどのように対応をしているのか知りたい。</p> <p>④ 行動障害に至るまでの関わりの中で、どのように本人の気持ちを汲み取るための聞き取りを行っているか知りたい。</p> <p>⑤ 関わりを工夫したことで、行動障害に至らなかった具体例を聞きたい。</p> <p>⑥ 児童の頃からの関わり方が大人になる過程でどのように影響しているのか話を聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あくまで虐待防止を大枠とするため、概要、統計から行動障害がある方々への虐待リスクが高いということから行動障害への対応について触れてもらうこととする。 <p>5. 障害者差別解消法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/17（日）市民フェスティバルにて、周知啓発イベントとしてボッチャ体験会を開催。合計で260名程度参加があった。障害事業所が行っている物販の商品と引き換えができる参加特典を200準備していたが、全てお渡しできた。想定していたよりも多くの参加があり大盛況であった。 ・当事者の参加は少なかったが、イベント自体は盛り上がり、多くの感想を聞くことができた。 ・詳しいアンケート結果については、次回の部会にて共有する。 <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
今回確認事項	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 各部会の報告</p> <p>③ 避難所開設運営訓練報告</p> <p>④ 虐待防止法勉強会について</p> <p>⑤ 障害者差別解消法（ボッチャイベント）について</p> <p>⑥ その他</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第4回	権利擁護部会
日 時	令和6年11月18日(月) 10時30分～11時55分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 鈴木 万由子	
② 安江 真吾	
③ 森田 沙弥香	
④ 鈴木 香織	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 奥田 洋子(欠)	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子(欠)	

(事務局)

① 小倉 懸自	② 渥美 則親
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 山 歩美	⑥ 武末 拓也
⑦ 桂川 斐斗美	⑧

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	武末 拓也	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	権利擁護部会	
日時	令和7年1月20日(月)10時30分～12時00分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6 名		事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り(名:別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 各部会からの報告		
	③ 虐待防止法勉強会について		
	④ ボッチャ実施報告		
	⑤ 次年度の検討事項		
主な意見	<p>1. 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設運営訓練について ・虐待防止法勉強会について ・障害者差別解消法(ボッチャ体験会)について <p>2. 各部会からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙のとおり。 <p>3. 虐待防止法勉強会について</p> <p>○4 法人共催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で100名程度の参加となった。 ・アンケートの回答については、1月末に回収予定。 ・勉強会を通じて、改めてコミュニケーションの必要性を感じた。コミュニケーションが上手くできていないことが虐待の発生に関係していることがわかった。 ・当事者の言動や表情から意思を汲み取ることが重要と感じた。その 		

上で、当事者の言動や表情が本当に思っていることなのか違うのか判断が難しいことがあると感じた。

- ・行動障害と家族支援は大きく関係している。特に児童の支援については、親の意見が優先されていることが多い。今後の研修でどのように組み込んでいけるか令和7年1月31日（金）16時～レジデンス日進にて振り返りを行う。

- ・様々な職種の方が参加していた。グループワークではそれぞれの視点で話を聞いたため良かった。

- ・次年度も4法人と権利擁護部会の共催にて勉強会を開催していく。

○部会主催

- ・令和7年2月21日（金）18:30～20:30 中央福祉センターにて開催する。

- ・当日役割について、別紙のとおり。

- ・アンケートは、直接記入及びGoogleフォームを活用する。

- ・現時点で、当日の参加申込者は10名程度。周知の方法について工夫する必要がある。障害者相談支援センターの相談員がモニタリングで事業所訪問する際に、チラシを配布する。

- ・各部会員から繋がりのある事業所へチラシを配布する。

- ・学校の先生も悩みを抱えているため、校長会を通して周知を実施。

- ・集客の状況については、適宜メールにて発信する。

4. ボッチャ実施報告

- ・別紙のとおり。

5. 次年度の検討事項

- ・令和6年度勉強会開催日程について、別紙のとおり。

- ・虐待防止法勉強会については、次年度も共催にて実施。

- ・避難所開設運営訓練については、アンケートにて当事者の声を確認することができた。今後開設が想定されている福祉避難所における要配慮者への配慮などについても、部会として何かできないか参加後の感想としてまとめたものを、防災交通課に提出する。

- ・受付における聞き取りが対応者によってばらつきがあった。部会として、救護班が確認する聞き取りシートに加えて、必要な配慮について提示できるツールを提案できるように検討していく。

- ・福祉避難所について、登録されている事業所が開設に対して不安を感じている。必要な備蓄品の知識がなく、準備もできていない。実際に災害が起きた際のことにも具体的にはイメージできていない。

- ・日進市としても、物資の準備は整備できていない。物資の置き場所も確保できていない。

- ・福祉避難所の開設について勉強をして、必要な物資について、部会として防災交通課に提案していくことも一つの手段。

- ・日進市において、災害時のガイドラインは作成されている。部会として内容を確認して、必要なことを反映してもらえるような提案の機会を設けることができるように防災交通課へ申し入れる。

- ・次回部会の際に、災害時のガイドラインを確認する。

- ・成年後見制度勉強会について、今年度は意思決定支援のテーマで開催した。次年度については、あすライツが開催する研修会と合わせて

	<p>盛り込んでいけるのか検討が必要。日進市としては、意思決定支援をテーマとして開催していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の勉強会では、意思決定をするために必要な形成のプロセスや表出のプロセスに関する内容が少なかった。 ・あすライツの次年度の予定は、市民向けの成年後見セミナーを秋頃開催予定。行政向けの手続きに関する研修会を5月頃に開催予定。 ・成年後見における意思決定支援の内容と、障害福祉サービス事業所の支援者が直面している現場業務での意思決定支援には違いがある。 ・対象者は、家族・当事者・支援者を分けずに一緒にできると良い。 ・成年後見と意思決定支援をどのように組み込んでいくか次回以降も検討を続ける。
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 各部会の報告
	③ 虐待防止法勉強会について
	④ ボッチャ実施報告
	⑤ 次年度の検討事項

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	権利擁護部会
日 時	令和 7 年 1 月 20 日（月） 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 鈴木 万由子	
② 安江 真吾	
③ 森田 沙弥香	
④ 鈴木 香織	
⑤ 高木 祥行（欠）	
⑥ 奥田 洋子（欠）	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝（欠）	
⑩ 志水 くに子（欠）	

（事務局）

① 渥美 則親	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 山 歩美
⑤ 武末 拓也	⑥ 桂川 斐斗美
⑦	⑧

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	武末 拓也	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	権利擁護部会	
日時	令和7年3月17日(月) 10時30分～12時00分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名		事務局 6 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 各部会からの報告		
	③ 虐待防止法勉強会について		
	④ 次年度の検討事項		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1. 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙のとおり。 <p>2. 各部会からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙のとおり。 <p>3. 虐待防止法勉強会について</p> <p>○部会主催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月21日(金) 18:30～20:30 中央福祉センターにて開催。 ・当日キャンセルもあったが、急遽参加できる方もいて、60名程度の参加となった。 ・勉強会に参加してみて、グループワークが良かった。様々な人から具体的な話を聞いて、それぞれの考え方について知ることができた。 ・施設の形態など違いがあると思うが、同じような問題を抱えているということがわかった。参加者の意見や質問を聞く時間が短いと感じた。 ・年齢層関係なく共通している内容の話聞いた。グループワークで 		

は具体的な話をする事ができた。

- ・事業所によって設備などが違う中、支援者がどこまで反映できるのか難しい部分もあると感じた。家族にも聞いてもらえるといい内容だと思った。

- ・虐待をさせないための支援が重要。今回は、学校とも連携がとれたことで多く参加があった。今後も参加していきたい意向を聞いている。強度行動障害がある方との関わり方で悩んでいる事業所は多くあるが、勉強会に参加できていない事業所もあるため周知について工夫していく必要がある。

- ・支援者のポジショニングについて、グループワークの中で具体的に話をして確認することができた。現場での具体的な対応例について学べたことはとても良かった。

○4 法人共催

- ・意思を決定する前の形成、プロセスについても取り入れた勉強会ができるといいと感じた。

- ・三好特別支援学校の先生からも、打ち合わせに参加したいと希望があった。4 法人と部会事務局が行う打ち合わせの時に、学校が感じている課題を意見として聞けるようにしていく。

- ・次年度の1 回目の打ち合わせは、5 月 21 日（水）16 時～愛歩にて実施予定。勉強会のテーマは、虐待を防ぐために必要なコミュニケーションの取り方について検討している。

4. 次年度の検討事項

○災害時支援

- ・来年度は、地域住人の方に段取りをしてもらうことを予定している。

- ・部会としては、要配慮者に対して必要なアセスメントツールを作ること、福祉避難所開設に際して、要配慮者への対応について提案できる情報を防災交通課に提供する。

○日進市障害者みらいプランをもとに検討

- ・避難所開設運営訓練について、運営していくなかで要配慮者への必要な対応を理解してもらう必要がある。

- ・サポートブックについては、活用が進んでいない。実際に何かが起こってみないと考えることができてない。

- ・「避難所へは行かない」、「事業所を開けてくれたら行く」という声がある。実際どういう環境があれば避難するのか等アンケートをとり、アンケート結果をもとに配慮事項を伝えるツールの作成について検討する。

- ・差別解消法の取り組みについて、次年度は日進市が手話奉仕員養成講座の幹事となっているため、内容は手話に関する事で検討をしている。部会としても関わっていけることを検討していく。

- ・虐待防止法勉強会については、4 法人と部会の共催で1 回の開催とする。

- ・意思決定支援の取り組みについては、全ての部会に共通している内容で範囲が広い。全体会議を行う予定のため、協議のうえ役割分担を見直していく。

- ・バリアフリーに関する内容は、次年度の取り組みとして検討できる。

	<p>飲食店などに行った際にモバイルオーダーが進んでいて、世の中的には便利が進んでいるが、障害を持った方の中には注文ができずに外出範囲が縮小している事実もある。支援者と一緒の時は対応ができるが、毎回一緒というわけではない。一人で行くことができる人にとって、機械の操作などが難しく制限がでてしまうことで外出意欲が低下してしまうのは防いでいきたい。</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の部会の開催について、全体会議で協議を行い、取り組む内容に応じて部会の回数を設定していく。全体会議も含めて最大でも 6 回の開催を想定している。 ・今年度の部会は、3 月が最後となっている。次年度の部会に向けて部会長、副部会長の選任を進めていく。 												
今回確認事項	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="411 732 459 799">①</td> <td data-bbox="467 732 1420 799">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 810 459 878">②</td> <td data-bbox="467 810 1420 878">各部会の報告</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 889 459 956">③</td> <td data-bbox="467 889 1420 956">虐待防止法勉強会について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 967 459 1034">④</td> <td data-bbox="467 967 1420 1034">次年度の検討事項</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1046 459 1113">⑤</td> <td data-bbox="467 1046 1420 1113">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1124 459 1234"></td> <td data-bbox="467 1124 1420 1234"></td> </tr> </table>	①	前回の振り返り	②	各部会の報告	③	虐待防止法勉強会について	④	次年度の検討事項	⑤	その他		
①	前回の振り返り												
②	各部会の報告												
③	虐待防止法勉強会について												
④	次年度の検討事項												
⑤	その他												

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 6 回	権利擁護部会
日 時	令和 7 年 3 月 17 日（月） 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 鈴木 万由子	
② 安江 真吾（欠）	
③ 森田 沙弥香	
④ 鈴木 香織	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 奥田 洋子	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子（欠）	

（事務局）

① 渥美 則親	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 山 歩美
⑤ 武末 拓也	⑥ 桂川 斐斗美
⑦	⑧